※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	学堺学フィールドワーク	単位数	１単位	年次	１・２年次
使用教科書							
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は，３日間のフィールドワーク（休みの日に実施）を行う集中講座の授業です。
事前学習会でフィールドワーク先の活動の概要と基礎知識を学んだ後、活動に関する興味を持った事柄を調べ、フィールドワーク先で発表します。フィールドワーク後は事後レポートを提出します。3 回のフィールドワーク終了後、興味関心を持ったテーマで新たな「問い」を立て、テーマに関する社会的課題を探究し、自分なりの改善案をプレゼンテーションします。

2　学習の到達目標

【知識・技能】
・地元堺の現状と課題を、様々なデータや資料から整理・理解することができる。
【思考力・判断力・表現力等】
・公共で学ぶものの見方考え方を生かし、通常の授業にはないフィールドワーク活動で、実際のものを見る・触る・感じる体験を通して、地元堺の地場産業、まちづくり、コミュニティづくりの現状と課題を理解し、まとめることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・積極的に地域社会を良くしようとする活動に参加する姿勢を育むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地元堺の地場産業、まちづくり、コミュニティづくりの現状と課題を、様々なデータや資料から整理・理解することができている	公共で学ぶものの見方考え方を生かし、学んだことを整理しレポートにまとめることができている	フィールドワークを通じて、自ら「問い」を立て、調べ、改善案をまとめたプレゼンテーションを行うことができている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	第1回FW	第1回:「堺の伝統校産業にふれよう」 堺伝匠館～昆布工場～鉄砲屋敷～刃物とぎ～自転車博物館など	a: 地元堺の地場産業、まちづくり、コミュニティづくりについて調べ、理解することができる b: 公共で学ぶものの見方考え方を生かし、学んだことを整理しレポートにまとめることができる c: 自ら「問い」を立て、計画的に探究することができる	事前学習の理解、調べ学習と発表を評価	事後レポートで評価	「問い」の発見と計画書の作成を評価
	第2回FW	第2回「堺の現状とこれから」 大阪地方裁判所堺支部～堺市議会～堺市役所展望デッキ～堺市役所など	a: 地元堺の地場産業、まちづくり、コミュニティづくりについて調べ、理解することができる b: 公共で学ぶものの見方考え方を生かし、学んだことを整理しレポートにまとめることができる c: 自ら「問い」を立て、計画的に探究することができる	事前学習の理解、調べ学習と発表を評価	事後レポートで評価	「問い」の発見と計画書の作成を評価
	第3回FW	第3回「堺の歴史を学ぶ」 堺市博物館～百舌鳥古市古墳群ビジターセンター～百舌鳥古墳群(伝仁徳天皇陵・いたすけ古墳・消滅した百舌鳥大塚山古墳など	a: 地元堺の地場産業、まちづくり、コミュニティづくりについて調べ、理解することができる b: 公共で学ぶものの見方考え方を生かし、学んだことを整理しレポートにまとめることができる c: 自ら「問い」を立て、計画的に探究することができる	事前学習の理解、調べ学習と発表を評価	事後レポートで評価	現状と課題、改善案の作成、プレゼンテーションを評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度